

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	環境・開発 フィールド・スタディ
申請可能セメスター	3 - 7 セメスター *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	アジアの開発途上国における貧困と環境問題 (須藤智徳)

1. プログラム名	アジアの開発途上国における貧困と環境問題
2. 担当教員	須藤 智徳
3. 実習地	インド (デリー) タイ (バンコク、プーケット)
4. 開講年度	2019 年度
5. 開講時期	夏セッション
6. 開講言語	・ 日本語 [実習で使用する場合がある言語] ・ 英語
7. 単位数	4 - セメスターの登録可能単位数の上限に含まれません。
8. プログラム概要	本プログラムは、低所得国（LIC）であるインドと中所得国（MIC）であるタイの環境と開発をテーマとして、訪問国での開発課題に取り組んでいる機関を訪問するとともに、それぞれの機関が実施しているプロジェクトを視察し、訪問国が抱えている開発課題を把握し、その解決策を考えるプログラムである。 本プログラムでは、事前授業として訪問国の基礎情報を学ぶとともに、開発・環境・気候変動に関する基本的理解と開発協力に関する基本理論を学ぶ。これらの基本知識をベースとして、現地実習では、JICA、NGO、研究機関、政府機関等開発協力等の活動を行なっている機関を訪問するとともに、これらの機関が実際に行っている事業サイトを訪問し、実施機関の職員や受益者へのインタビュー等を通じ、事業の狙いとその効果の把握を行うことで、理論の実践での応用手法等を学び、事後事業で見分してきたことをまとめ、今後の学修に活かすことを目的とする。
9. プログラムのねらい	本プログラムは、低所得国（LIC）であるインドと中所得国（MIC）であるタイを比較することで、国の経済や社会の開発レベルによってどのように開発アプローチが異なるか、また気候変動等の外部要因が貧困削減や経済開発にどのように影響し、どのような対応が必要となるかを考察し、分析し、そして対応する手法を学び、大学での学修の進化を図るとともに、将来これらの手法を実務に応用する能力の開発を狙いとしている。 また、具体的な開発プロジェクトを視察、プロジェクトの実施機関等関係者の考えを聴取し、開発課題に対するプロジェクト形成やその効果を把握する手法を学ぶ機会を提供する。

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	環境・開発 フィールド・スタディ
申請可能セメスター	3 - 7 セメスター *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	アジアの開発途上国における貧困と環境問題 (須藤智徳)

10. 参加費 (目安)	項目	金額
	交通費(航空券・陸路)	¥200,000
	宿泊費	¥50,000
	現地交通費	¥50,000
	合計	¥300,000
	[上記に含まれないもの] ➤ 食費 ➤ VISA 取得費用 (必要な場合) ➤ 海外旅行保険、J-TAS 費用 ➤ 日本国内交通費 ➤ 予防接種費 (希望者のみ)	
11. 履修の目安	事前授業 12 時間＋実習・現地講義 100 時間 ＋事後授業 4 時間 本プログラムは日本語開講であるが、現地での講義・質疑応答は英語で行うので、英語での議論が行えることが望ましい。 開発または環境分野に関心を有していること。開発学入門、環境学入門を履修していることが望ましい。	
12. 到達目標	以下の点を習得することを目標とする。 ーインドやタイが抱える環境と開発の課題を把握する。 ーインドやタイの開発・環境政策を理解する。 ー国連等の国際機関や JICA 等の開発協力機関の活動とその狙いを理解する。 ー開発や環境対策として行われるプロジェクトの形成、効果の把握手法について理解する。	
13. 授業方法	[事前授業] 2019 年 7 月 28 日～30 日 (各日 2 限連続) 訪問国に関する基本情報及び環境と開発に関する基礎理論に関する講義およびグループワーク [実習] 2019 年 8 月 3 日～8 月 18 日 国連バンコク本部、JICA 事務所、エネルギー研究所、NGO、政府機関等、開発協力等の活動を行なっている機関を訪問するとともに、これらの機関が実際に行っている事業サイトを訪問し、実施機関の職員や受益者へのインタビュー等を通じ、事業の狙いとその効果の把握を行う。	

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	環境・開発 フィールド・スタディ
申請可能セメスター	3 - 7 セメスター *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	アジアの開発途上国における貧困と環境問題 (須藤智徳)

	[事後授業] 2019 年 8 月 19 日 (2 限連続) 本プログラムを通じて得た情報を整理し、その情報をもとにインドとタイの比較検討を行ったうえで、その結果についてプレゼンテーションを行う。また、本プログラムで得た経験をもとに、今後の学修計画について検討する。 [多文化協働学修に関する環境と手法] 本プログラムでは、開発レベル、経済レベル、文化や宗教的背景の異なる国を訪問し、それぞれの国が抱える開発・環境分野における課題とその解決策、及びそれらの国々に対する国際協力を考えるものであり、多文化協働を理論的及び実践的に考察する機会を提供するものである。																								
14. スケジュール	[事前授業] <table><tr><th>日付</th><th>時限</th><th>内容</th></tr><tr><td>7 月 3 日(月)</td><td rowspan="3">5 限 6 限</td><td>インド、タイの経済、社会、開発状況と環境</td></tr><tr><td>7 月 10 日(火)</td><td>開発と環境、気候変動</td></tr><tr><td>7 月 17 日(水)</td><td>開発協力の手法、インド、タイにおける国際協力</td></tr></table> [現地での実習] <table><tr><th>日付</th><th>内容</th></tr><tr><td>8 月 3 日(土)</td><td>福岡～デリー</td></tr><tr><td>8 月 4 日(日)</td><td>現地ブリーフィング</td></tr><tr><td>8 月 5 日(月)</td><td>日本によるインド支援に関する講義 (JICA インド事務所) インドにおける青年海外協力隊の活動 (JICA インド事務所)</td></tr><tr><td>8 月 6 日(火)</td><td>インドにおける社会的起業に関する講義 (Development Alternative)</td></tr><tr><td>8 月 7 日(水)</td><td>社会的起業による貧困削減事業実地調査</td></tr><tr><td>8 月 8 日(木)</td><td>インドにおける気候変動問題と再生可能エネルギー利用に関する講義 (インドエネルギー研究所 (TERI))</td></tr></table>	日付	時限	内容	7 月 3 日(月)	5 限 6 限	インド、タイの経済、社会、開発状況と環境	7 月 10 日(火)	開発と環境、気候変動	7 月 17 日(水)	開発協力の手法、インド、タイにおける国際協力	日付	内容	8 月 3 日(土)	福岡～デリー	8 月 4 日(日)	現地ブリーフィング	8 月 5 日(月)	日本によるインド支援に関する講義 (JICA インド事務所) インドにおける青年海外協力隊の活動 (JICA インド事務所)	8 月 6 日(火)	インドにおける社会的起業に関する講義 (Development Alternative)	8 月 7 日(水)	社会的起業による貧困削減事業実地調査	8 月 8 日(木)	インドにおける気候変動問題と再生可能エネルギー利用に関する講義 (インドエネルギー研究所 (TERI))
日付	時限	内容																							
7 月 3 日(月)	5 限 6 限	インド、タイの経済、社会、開発状況と環境																							
7 月 10 日(火)		開発と環境、気候変動																							
7 月 17 日(水)		開発協力の手法、インド、タイにおける国際協力																							
日付	内容																								
8 月 3 日(土)	福岡～デリー																								
8 月 4 日(日)	現地ブリーフィング																								
8 月 5 日(月)	日本によるインド支援に関する講義 (JICA インド事務所) インドにおける青年海外協力隊の活動 (JICA インド事務所)																								
8 月 6 日(火)	インドにおける社会的起業に関する講義 (Development Alternative)																								
8 月 7 日(水)	社会的起業による貧困削減事業実地調査																								
8 月 8 日(木)	インドにおける気候変動問題と再生可能エネルギー利用に関する講義 (インドエネルギー研究所 (TERI))																								

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	環境・開発 フィールド・スタディ
申請可能セメスター	3 - 7 セメスター *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	アジアの開発途上国における貧困と環境問題 (須藤智徳)

	8 月 9 日(金)	インド訪問結果レビュー	
	8 月 10 日(土)	デリー～バンコク	
	8 月 11 日(日)	バンコク市内視察（日本の ODA 案件視察等）	
	8 月 12 日(月)	タイにおける気候変動政策（タイ政府 TGO） 日本によるタイ支援に関する講義（JICA）	
	8 月 13 日(火)	アジアにおける国連の活動に関する講義 （国連バンコク本部）	
	8 月 14 日(水)	バンコク～プーケット	
	8 月 15 日(木)	プーケットにおける持続可能な開発に関する講義 （IUCN）	
	8 月 16 日(金)	プーケット～バンコク	
	8 月 17 日(土)	バンコク～	
	8 月 18 日(日)	福岡	
	[事後授業]		
	日付	時限	内容
	8 月 19 日(月)	4 限 5 限	プレゼンテーション
15. 成績評価方法	出席および授業・実習への貢献 40% 最終発表 30% レポート 30%		
16. 学生への要望事項	政治情勢の急変や天候等により現地実習の内容が変更となることがあります。 食生活等の生活習慣や宗教的習慣が異なりますので、訪問国の文化や習慣へのリスペクトを忘れないように。 その他の注意事項に関しては授業の中でも説明しますが、申請前に疑問等があれば指導教員に相談してください。 -海外プログラムに参加するためには、出発から帰国までの期間について、大学が指定する海外旅行保険への加入と大学指定の航空券の購入が必要です。詳細については、受講を許可された学生に対して別途に案内します。		
17. 教科書			

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	環境・開発 フィールド・スタディ
申請可能セメスター	3 – 7 セメスター *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	アジアの開発途上国における貧困と環境問題 (須藤智徳)

18. 参考文献	-
19. 上記以外	事前授業時に受講者に講義資料等を配布する。
20. その他	- 募集人数: 15 - 最少実施人数: 5 - 派遣地域安全情報 : レベル 1